

# 令和3年度学校評価アンケートまとめ

集計結果

※青数字は昨年度比で上昇、赤数字は下降、黒数字は維持か新規

着眼点		保護者			児童			教職員		
		項目	肯定的評価		項目	肯定的評価		項目	肯定的評価	
教育課程	授業改善	Q 1	93.7%	○	Q 3	90.1%	○	Q 1	95.2%	◎
	教育課程							Q 4	90.9%	○
	アクティブ・ラーニング							Q 5	95.5%	◎
	行事	Q 2	95.7%	◎				Q 8	86.4%	△
指導	基本的な生活習慣	Q 3	93.7%	○				Q 3	90.9%	○
	あいさつ	Q 9	86.4%	△	Q 7	94.1%	○			
	なかよく	Q 4	98.2%	◎	Q 1	94.9%	○			
	楽しく登校	Q 5	93.5%	○	Q 2	81.7%	▲			
	楽しい学校生活	Q 6	95.8%	◎				Q 6	90.9%	○
	協力	Q 7	94.6%	○	Q 5	90.8%	○			
	思いやり				Q 4	86.4%	△			
	きまりを守る	Q 10	92.6%	○	Q 8	93.8%	○	Q 9	90.9%	○
	いじめ撲滅	Q 13	92.6%	○	Q 11	94.9%	○	Q 12	90.9%	○
					Q 12	90.5%	○			
	適切な評価	Q 14	94.4%	○						
健康・安全	健康管理・推進	Q 11	96.8%	◎	Q 10	97.4%	◎	Q 10	90.9%	○
	体力向上	Q 8	91.7%	○	Q 6	83.2%	▲	Q 7	86.4%	△
	安全確保	Q 12	97.7%	◎				Q 2	90.9%	○
	安全教育							Q 11	90.9%	○
	学習環境	Q 15	87.9%	△	Q 13	93.0%	○	Q 13	90.9%	○
開かれた学校	相談対応	Q 16	95.9%	◎	Q 9	83.5%	▲	Q 14	90.9%	○
	情報公開	Q 17	94.0%	○				Q 15	90.9%	○
	教育方針の共有	Q 18	92.2%	○						

## 質問項目

### 【保護者】

- Q1. 基礎学力の定着や基礎体力の向上を重視した授業改善を推進している。
- Q2. 学校行事では、開かれた学校作りを推進するとともに、子どものよさを発揮する学校行事の充実に努めている。
- Q3. 挨拶や返事、廊下歩行など基本的な生活習慣の徹底をするとともに、授業での学習規律の徹底も全職員で共通指導できるように努力している。
- Q4. 子どもたちは、友達と仲良く学校生活を送っている。
- Q5. 子どもたちは、学校へ行くのを楽しみにしている。
- Q6. 子どもたちは、楽しそうに授業や行事に参加している。
- Q7. 子どもたちは互いに認め合ったり、協力したりするなど思いやりの心が少しずつ養われている。
- Q8. 学校は、子どもの体力の向上に努めた教育活動を行っている。
- Q9. 元気に「おはよう」「ありがとう」等のあいさつの交わされている学校だと思う。
- Q10. 学校は、子どものまちがった言動に対して、適切な指導をしている。
- Q11. 学校は、子どもの健康管理に配慮している。（保健・給食だより、定期健康診断、保健調査、歯科保健、性教育などの保健指導、学校保健委員会など）
- Q12. 学校は、防犯ボランティアと連携し、子どもの安全確保に努力している。（交通安全教室、防犯教室、避難訓練、防犯訓練、防犯活動、学校安心メールなど）
- Q13. 学校は、いじめなどの実態を見逃すことなく、一人ひとりの人権を尊重する指導をしている。
- Q14. 学校は、子どもたちの能力や努力を適切に評価し、よさを伸ばそうとしている。
- Q15. 学校は、環境を整え掃除の行き届いた、きれいな学校づくりに取り組んでいる。
- Q16. 学校は、保護者の相談や地域の願いに応えられるように努力している。
- Q17. 学校は、教育活動を保護者や地域に積極的に公開している。
- Q18. 学校の教育方針や情報が保護者の方へ、わかりやすく伝えられている。（授業参観・懇談会や学校・学年だより、個人面談など）

### 【児童】

- Q1. 学校では、友だちとなかよく、楽しい生活ができましたか。
- Q2. 毎日学校に来ることを楽しみにしていましたか。

- Q 3. 学校の勉強は、よくわかり、楽しかったですか。
- Q 4. 人の気持ちを考え、思いやることができましたか。
- Q 5. 友だちと協力してよいことをしようと努力しましたか。
- Q 6. 学校で元気に遊んだり、運動したりしましたか。
- Q 7. すすんで「おはよう」「ありがとう」などのあいさつをすることができましたか。
- Q 8. 学校やクラスのきまりが守れましたか。
- Q 9. 悩みや困ったことがある時は、先生に相談できそうですか。
- Q 10. 健康や安全に気をつけて生活できましたか。
- Q 11. いじめや差別を絶対に許さないよう努力しましたか。
- Q 12. いじめや差別をしませんでしたか。
- Q 13. きれいにしようと一生懸命清掃に取り組みましたか

#### 【教職員】

- Q 1. 基礎学力の定着や基礎体力の向上とともにアクティブ・ラーニングを重視した授業改善を行い思考力や表現力、判断力の向上を推進している。
- Q 2. 学校行事では、よりいっそう開かれた学校作りを推進するとともに、安全に関わる学校行事の充実に努めている。
- Q 3. 日本一心のこもった挨拶や廊下歩行など基本的な生活習慣の徹底をするとともに、授業での学習規律の徹底も全職員で共通指導できるように努力している。
- Q 4. 教科等の全体計画を理解し、計画された1年間の授業時数を確保して授業を進めた。
- Q 5. 「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業を行い、指導法の工夫・改善に努め、わかりやすく楽しい授業を行った。
- Q 6. 道徳・特別活動・人権教育等の実践を通して、児童の人間性・自主性を育てるよう努めた。
- Q 7. 運動の特性にふれる楽しさを味わわせ、体力の向上を図るとともに、体育的活動の充実に努めた。
- Q 8. 学校行事は学校教育目標を達成する上で適切であった。
- Q 9. 「大宮北小のきまり」を共通理解し、行動目的（元気にあいさつ、やさしい笑顔で友達いっぱい、きれいな学校）を徹底するための指導に努めた。
- Q 10. 学校保健・学校給食・食に関する全体計画を理解し、適切な指導に努めた。
- Q 11. 学校安全の全体計画を理解し、事故「0」を目指して、安全教育の充実と安全管理の徹底を図った。
- Q 12. 児童一人ひとりの思いや願いを理解し温かく支えるだけでなく、いじめや差別は絶対に許さないという毅然とした態度をとった。

Q13. 机・椅子・教具・備品・消耗品・教室（特別教室）・廊下・トイレ・学級園等の管理に努め、安全と美化に配慮された潤いのある教育環境作りを推進した。

Q14. 子どもや保護者からの相談、地域の願いなどに対して、親切・丁寧・迅速な対応をした。

Q15. 学校は教育活動を積極的に公開し、教育方針や情報をわかりやすく伝えた。

## 考察（児童評価を軸として）

### 評価が高かった項目

●項目「健康や安全に気をつけて生活できましたか。」において、児童・保護者に共通して評価が高かった。感染症予防を継続していることから、健康への取り組みが定着してきたことが評価されていると考えられる。一方、安全に関しては、登下校時の様子に課題があり、さらに児童の意識を高めていく必要がある。

●項目「学校では、友だちとなかよく、楽しい生活ができましたか。」において、児童・保護者に共通して評価が高かった。しかし、一方では、項目「毎日学校に来ることを楽しみにしていましたか。」の児童の肯定的評価は81.7%と低く、学校に来れば楽しく過ごせるが、登校時には気持ちが重くなる児童が少なくないことが読み取れる。制限のある学校生活の中でも、満足感や達成感のある活動を積み重ねていく必要がある。

●項目「いじめや差別を絶対に許さないよう努力しましたか。」において、児童の評価が高かった。関連する保護者アンケートでは「学校は、いじめなどの実態を見逃すことなく、一人ひとりの人権を尊重する指導をしている」という項目で、肯定的評価が前年度86.6%から92.6%に6.0ポイント改善した。いじめは身近でも起こりうることとして捉えるとともに、いじめは許さないという基本姿勢で適宜指導を継続してきた。教職員もさらに人権意識を高め、人権尊重を基盤とする指導に取り組んでいく必要がある。

●項目「すすんで「おはよう」「ありがとう」などのあいさつをすることができましたか。」において、児童の評価が高かった。関連する保護者アンケートでは「元気に「おはよう」「ありがとう」等のあいさつの交わされている学校だと思う。」という項目で、肯定的評価が前年度84.8%から86.4%に1.6ポイント改善したが、まだ十分ではないと捉えている。大人と児童の評価に差があり、校内での日常的なあいさつは比較的よく交わされているが、登校時の朝のあいさつは個人差が大きい。教職員も含め、大人が規範を示しながら指導を継続していく必要がある。

●項目「学校やクラスのきまりが守れましたか。」において、児童の評価が高かった。関連する保護者アンケートでは「学校は、子どものまちがった言動に対して、適切な指導をしている。」という項目で、肯定的評価が前年度88.1%から92.6%に4.5ポイント改善した。毅然とした指導を行うことと併せて、児童にとってわかりやすい、納得できる指導を継続していく必要がある。

●項目「きれいにしようと一生懸命清掃に取り組みましたか。」において、児童の評価が高かった。関連する保護者アンケートでは、「学校は、環境を整え掃除の行き届いた、きれいな学校づくりに取り組んでいる。」という項目で、肯定的評価が前年度81.5%から87.9%に6.4ポイント改善したが、まだ十分ではない。学習環境の課題を「施設」と「清掃・整頓」に整理して捉え、環境の美化に努めるとともに、教材・教具の管理を徹底していく必要がある。来年度以降、施設改修の予定があり、今後の学習環境の整備について計画的に進めていく。

#### 評価が低かった項目

●項目「学校で元気に遊んだり、運動したりしましたか。」において、児童・教職員に共通して評価が低かった。運動が制限されたり、例年通りの活動や行事ができなかったりしたこと、物足りなさを感じる児童がいたと考えられる。また、室内で過ごすことに慣れてしまっている児童もあり、運動の習慣を再度取り戻す必要がある。

●項目「悩みや困ったことがあるときは、先生に相談できそうですか。」において、児童の評価が低かった。関連する保護者アンケートでは評価が高く開きがあった。様々な相談の窓口があり、相談できる相手もたくさんいるということも周知し、一人で抱え込むことがないように環境を整え、継続して働きかけていく必要がある。

●項目「人の気持ちを考え、思いやることができましたか。」において、児童の評価が低く、保護者・教職員の評価と開きがあった。この項目は前年から2.4ポイント下降しており、内面にストレスを抱えている児童がいる懸念がある。コロナ禍の毎日も2年近くが経過しており、全市的な調査でも児童の内面のストレスが心配される状況である。より一層、児童観察に努め、心のアンテナを高く接していく必要がある。

#### その他

●学校行事について、感染状況を見ながら少しずつ活動や公開の範囲を広げてきたことに、記述欄で肯定的なご意見をいただき、肯定的評価も前年度89.5%から95.7%に6.2ポイント改善した。また、様々なやり方を模索してきた中で、例年通りではない取り組みについては「整理されていてよかった」との声もあった。今後の状況を見定めながら、「もとに戻す」だけでなく「より適切な方法」へとシフトしていく工夫をしていきたい。また、情報公開に関する保護者の肯定的評価は前年度88.2%から94.0%に5.8ポイント改善したが、学校のきまりなどが家庭に違う伝わり方をしている事例の指摘もあり、より明確に伝えていく必要を感じている。小さな疑問や不安にこたえていくためにも、より誠実な対応に努めていきたい。